

【コロナ特別対応型・日本商工会議所提出用】

(様式2)

経営計画書

名 称： HEROES 合同会社

<応募者の概要>

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--------------|---|---|---|---|---|---|------------------------|---|---|---|---|---|---|
| (フリガナ) 名称 (商号または屋号) ※ 1 | | ヒーローズゴウドウガイシャ HEROES 合同会社 | | | | | | | | | | | | |
| 法人番号 (13桁) ※ 2 | | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 4 | 8 | 2 | 7 |
| 自社ホームページのURL (ホームページが無い場合は「なし」と記載) | | https://lovewhite.jp | | | | | | | | | | | | |
| 主たる業種 | | 【以下のいずれか一つを選択してください】 ① (<input type="radio"/>) 商業・サービス業 (宿泊業・娯楽業を除く) ② (<input type="radio"/>) サービス業のうち宿泊業・娯楽業 ③ (<input type="radio"/>) 製造業その他 ④ (<input type="radio"/>) 特定非営利活動法人 (主たる業種の選択不要) | | | | | | | | | | | | |
| 常時使用する 従業員数 ※ 3 | | 1 人 | | | * 常時使用する従業員がいなければ、「0人」と記入してください。 * 従業員数が小規模事業者の定義を超える場合は申請できません。 | | | | | | | | | |
| 資本金額 (会社以外は記載不要) | | 200万 円 | | | 設立年月日 (西暦) ※ 4 | | | 2020年2月10日 | | | | | | |
| 連絡 担 当 者 | (フリガナ) 氏名 | マエダ ヒロタカ 前田 紘孝 | | | 役職 | | | 代表社員 | | | | | | |
| | 住所 | (〒335-0005) 埼玉県蕨市錦町6-6-12 カーサフォルテ蕨 1F | | | | | | | | | | | | |
| | 電話番号 | 070-1477-9625 | | | 携帯電話番号 | | | 090-6039-7620 | | | | | | |
| | FAX 番号 | | | | E-mail アドレス | | | hero02891344@gmail.com | | | | | | |

【様式2作成の留意事項】

- ※1 共同申請の場合には代表する応募者で記載してください。補助金事務局からの書類の送付や必要書類の提出依頼等の電話・メール連絡は、全て「連絡担当者」宛てに行います。補助金の申請内容や実績報告時の提出書類の内容について、責任をもって説明できる方を記載してください。電話番号または携帯電話番号は必ず記入をお願いします。FAX 番号・E-mail アドレスも極力記入してください。
- ※2 法人の場合は、法人番号を記載してください。個人事業主は「なし」と明記してください。マイナンバー (個人番号 (12桁)) は記載しないでください。
- ※3 公募要領P. 24の2.(1)②の常時使用する従業員数の考え方をご参照のうえ、ご記入ください。なお、常時使用する従業員に含めるか否かの判断に迷った場合は、地域の商工会・商工会議所にご相談いただけます。
- ※4 「設立年月日」は、創業後に組織変更 (例：個人事業者から株式会社化、有限会社から株式会社化) された場合は、現在の組織体の設立年月日 (例：個人事業者から株式会社化した場合は、株式会社としての設立年月日) を記載してください。
* 個人事業者で設立した「日」が不明の場合は、空欄のまま構いません (年月までは必ず記載してください)。

| | | |
|---|--|--|
| <p><第2回受付締切分に応募の場合のみ> (第1回受付締切分に応募の方は、回答不要です。)</p> <p>①令和2年度補正予算事業（第1回受付締切分）の申請を行っている。</p> <p>②令和2年度補正予算事業（第1回受付締切分）の申請を行っているが、採択結果がまだ出ていない。 ※第2回受付締切分に応募はできますが、第1回受付締切分が採択された場合は、第2回受付締切分を取り下げしていただかなければ、第1回受付締切分の事業実施はできません。</p> <p>③令和2年度補正予算事業（第1回受付締切分）の採択・交付決定を受け、補助事業を実施している事業者である。</p> | <p><input type="checkbox"/>該当する →②へ</p> <p><input type="checkbox"/>該当する※</p> <p><input type="checkbox"/>該当する (該当する場合は応募できません)</p> | <p>■該当しない</p> <p><input type="checkbox"/>該当しない →③へ</p> <p><input type="checkbox"/>該当しない</p> |
| <p><売上が前年同月比※20%以上減少している事業者が対象></p> <p>「概算払いによる即時支給（審査後、交付決定額の50%を支払う）」を希望するか否か。</p> <p>注1：様式5（概算払請求書）を申請時に提出してください。</p> <p>注2：地方自治体が発行する売上減少証明書を添付（セーフティネット保証4号に関して地方自治体から売上減の認定を受けている場合は、同認定書（コピー可）で代用可。</p> <p>注3：共同申請の場合は、対象外となります。</p> <p>※2020年2月～2021年1月までの任意の1ヵ月と、前年同月を比較。なお、創業1年未満のため前年同月との比較ができない場合は、創業後申請する月の前月までの間の任意の連続する3ヵ月間の月平均売上高（A）と当該期間の最終月（B）または当該期間以降の任意の1ヵ月（C）の売上高との比較により対応いただけます。ただし、BまたはCについては、2020年2月以降である必要があります。</p> | <p><input type="checkbox"/>希望する</p> | <p>■希望しない</p> |
| <p><全ての事業者が対象></p> <p>補助対象事業として取り組むものが、「射幸心をそそるおそれがある、または公序良俗を害するおそれがある」事業（公募要領P.26参照）か否か。</p> | <p><input type="checkbox"/>該当する (該当する場合は応募できません)</p> | <p>■該当しない</p> |
| <p><全ての事業者が対象>（①・②のいずれか一つを選択）</p> <p>①（○）「令和元年度補正予算 小規模事業者持続化補助金<一般型>」には応募していない。</p> <p>②（ ）「令和元年度補正予算 小規模事業者持続化補助金<一般型>」に応募した。</p> <p><u>※「令和元年度補正予算 小規模事業者持続化補助金<一般型>」に採択された方は、辞退を事務局に申し出なければ、本補助金を受給することはできませんので、ご注意ください。</u></p> | <p style="text-align: center;">/</p> | <p style="text-align: center;">/</p> |

＜計画の内容＞は、合計最大5枚までとします。

＜計画の内容（新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるための取組）＞

1. 新型コロナウイルスの影響を乗り越えるための投資の類型（該当する類型を、一つ以上選択）
- A：サプライチェーンの毀損への対応
 - B：非対面型ビジネスモデルへの転換
 - C：テレワーク環境の整備

2. 事業概要（自社の概要や市場動向、経営方針等を記載ください）（注1）

【開業年月日】2020年2月10日設立

【店舗・会社の場所】

会社：埼玉県蕨市錦町6-6-12 カーサフォルテ蕨1F

店舗：東京都新宿区新宿5-10-5 塚本ビル2F

店舗は飲食店が多くある商店街の一角にある。

【業種】

美容サロン経営（歯のセルフホワイトニング専門店）、育児、恋愛、ライフプランに関するコンサルティング、各種物品の販売（美容品、日用品）、インターネットを利用した各種情報提供サービス、イベントの企画・制作及び運営、不動産の仲介、ビジネスマッチングに関する業務、前各号に付帯関連する一切の事業

【組織構成】4人（共同経営で3人オーナー、スタッフ1名）

【事業概要】

- ① 2020年4月5日より東京メトロ丸の内線新宿三丁目駅徒歩5分の場所にセルフホワイトニング専門店『LOVE ホワイトニング新宿店』をオープン。



店舗内部写真



店舗内部写真

【売上・利益の大きいサービス】

店舗 0円/年（コロナの影響により）

【現在までの状況と今後の展開】

2020年3月31日まで板橋区役所の職員として勤務し、退職と同時に独立。美容サロンをオープンしようとした矢先にコロナの影響により営業自粛。緊急事態宣言は解除されたものの、本来予定していた売り上げ予想には届か不透明。サロンでの収益が見込めない為、非対面

で売り上げが見込めるネットショップを立ちあげていく。

3. 新型コロナウイルス感染症による影響（売上減少等の状況について記載ください）（注2）

新型コロナウイルス感染症による影響（売上減少等の状況について記載ください）（注2）

サロン経営は、コロナの影響により従業員も来られなくなり、とりあえずオープンしたものの翌日より自粛のまま現在に至る。このままでは改装費用の回収はおろか、家賃含めたランニングコストを更に負担し続けなくてはならなくなるので、廃業を検討しなくてはならなくなってしまう。

4. 今回の申請計画で取り組む内容（注3）

【事業名：30文字以内で記載】

【計画内容】（上記1～3を踏まえて、販路開拓等の取組（A、BまたはCに関する取組を含む）を記載ください）

- ・店舗改装：ネットで買った商品を店舗で受け取りたい方のために全ブースを個室にし、飛沫感染を防ぎ、ソーシャルディスタンスを保てるようにする。
また、店舗内の印象及び清潔感を向上させる為に、床と壁の張り替えを行う。
- ・物品収納棚設置：敷地内の空きスペースに収納棚を設置し、物品収納在庫保管等の場所として利用する事で幅広い通販に対応する事が可能となる。
- ・備品購入：ネットショップ事業を立ち上げるにあたり、パソコン一台、店舗スタッフ用iPadを二台購入し、事業が円滑に進むようにしていく。
- ・レジIT化：電子マネー決済システムを積極的に導入してキャッシュレスにする事でオペレーションやリスクを低減させる。またそれに伴うハードとソフトを導入する事で在庫管理を強化して効率良い仕入れを行い仕入ロスを低減させる。
- ・EC販売：ECサイトを立ち上げ、インターネットで通販を確立する事で遠方客の囲い込みを実現させ、販路の拡大を図る。
- ・人員強化：販売顧客対応要員を雇う事により、自身は経営企画や仕入れに集中できる環境を作る。EC販売を可能とする事で、今後人員の増加を目指し雇用の活性化を計っていく。

5. 新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための取り組みの中で、本補助金が経営上にもたらす効果

- ・売上確保：現状は売上がゼロな状況で、自粛が解除されてもサロンとしてすぐに売上が見込めるとは思えないので、この取り組みが出来る事によって売上の見通しが立つ事は、この上ない効果となる。
- ・リーズナブルな価格設定：卸業者から仕入れることにより、店頭でもECでも販売価格を抑える事が可能となる（目標は一般販売価格の3割程度）。またサロン営業が再開出来れば、異なる事業展開による家賃等固定費の分散が可能となる。
- ・需要ある商品の提供：アンケートを実施し、お客様のニーズを把握することでより良い商品をお客様に提供する事が可能となり、顧客満足度を高められるようになる。

※経営計画等の作成にあたっては商工会・商工会議所と相談し、助言・指導を得ながら進めることができます。

※採択時に、「事業者名称」および「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。

<支出経費の明細等> (注4)

計画の内容「1. 新型コロナウイルスの影響を乗り越えるための投資の類型」の選択によって補助金交付申請額の補助率が異なります。以下該当する表に記載ください。

(単位：円)

| A 類型のみの申請の場合 | | | | |
|--|---------|-----------------|-------------------|--------------------------|
| 経費区分 | 内容・必要理由 | 経費内訳 (単価×回数) | 補助対象経費 (税抜・税込) | 補助対象経費のうち新型コロナウイルス関連投資額※ |
| | | | | |
| | | | | |
| (1) 補助対象経費合計 | | | ① | ② |
| (2) 補助金交付申請額 (1) × 補助率 2/3 以内 (円未満切捨て) | | | | |
| (3) 新型コロナウイルス関連投資の割合 (%) (2/①) × 100% ≥ 1/6 (16.7%) | | | | *小数点第2位を四捨五入 |

| B・C 類型単体、A 類型と B・C を組み合わせて申請する場合 | | | | |
|--|-------------|-----------------|----------------|--------------------------|
| 経費区分 | 内容・必要理由 | 経費内訳 (単価×回数) | 補助対象経費 (税込) | 補助対象経費のうち新型コロナウイルス関連投資額※ |
| ① 機械装置等費 | 内装改修費用 | 446,775 | 446,775 | 446,775 |
| ① 機械装置等費 | ネットショップ構築費用 | 19,872 | 19,872 | 19,872 |
| ① 機械装置等費 | レジ等決済費用 | 89,800 | 89,800 | 89,800 |
| ① 機械装置等費 | 在庫管理費用 | 52,614 | 52,614 | 52,614 |
| ⑬外注費 | 電気工事 | 108,341 | 108,341 | 108,341 |
| ⑬外注費 | 床、壁、張り替え工事 | 494,440 | 494,440 | 494,440 |
| ②広告費 | 新商品の開発 | 150,000 | 150,000 | 150,000 |
| (1) 補助対象経費合計 | | | ① 1,361,842 | ② 1,361,842 |
| (2) 補助金交付申請額 (1) × 補助率 3/4 以内 (円未満切捨て) | | | 1,000,000 | |
| (3) 新型コロナウイルス関連投資の割合 (%) (2/①) × 100% ≥ 1/6 (16.7%) | | | | *小数点第2位を四捨五入 |

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑬外注費」までの各費目を記入してください。

※補助対象経費の消費税(税抜・税込)区分については、公募要領 P.47 を参照のこと。

※補助対象経費の 1/6 以上が、「サプライチェーンの毀損への対応」、「非対面型ビジネスモデルへの転換」、「テレワーク環境の整備」に関する投資であることが必要です。

※(2)の上限は100万円。

＜補助対象経費の調達一覧＞（注4）

＜「2. 補助金」相当額の手当方法＞（※3）（注4）

| 区分 | 金額（円） | 資金調達先 |
|---------------|-----------|-------|
| 1. 自己資金 | 361,842 | |
| 2. 持続化補助金（※1） | 1,000,000 | |
| 3. 金融機関からの借入金 | 0 | |
| 4. その他 | 0 | |
| 5. 合計額（※2） | 1,361,842 | |

| 区分 | 金額（円） | 資金調達先 |
|------------------------------|-----------|-------|
| 2-1. 自己資金 | 1,361,842 | |
| 2-2. 金融機関からの借入金 | 0 | |
| 2-3. その他 （概算払いによる即時支給分含む） | 0 | |

※1 補助金額は、支出経費の明細等（2）補助金交付申請額と一致させること。

※2 合計額は、支出経費の明細等（1）補助対象経費合計と一致させること。

※3 原則、補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください。

○複数事業者による共同申請の場合の記載について

（注1）共同申請の場合、共同で取組む経緯や取り組んでいる内容等で記載してください。

（注2）共同申請の場合、共同事業での影響の状況を記載してください。

（注3）共同申請の場合、共同経営計画の内容を記載してください。

（注4）共同申請の場合、記載は不要ですが、必ず様式2-2を提出してください。